

日 時	令和6年1月19日(金) 12:00~12:30 17:45~18:15
学 校 名	栃木県立学悠館高等学校
対 象	2年生 250名
講 師	酒井 誠 氏 (酒井建築設計事務所 代表取締役社長) 陳 賢徳 氏 (株式会社フェドラ 代表取締役)
内 容	<p>今回は、「仕事について考える」というテーマで講演を行った。</p> <p>学悠館高等学校の生徒は、アルバイトをしている生徒もいれば、なかなか学校に来られない生徒もいて、状況はさまざまである。そのため、卒業後の進路も、大学や専門学校進学、就職などさまざまである。しかし、どの生徒も最終的には就職する。そのことを踏まえて両氏とも、「仕事」において大切な話をしていった。</p> <p>酒井氏は、自身が建築家になったいきさつを話した。もともと建築士になるつもりもなく高校時代までを過ごしたが、あるきっかけで建築士を志すようになった。そのことから、どんなきっかけで仕事が決まるかは分からない。しかし、なったからには全力を尽くすことが大切だと話していた。</p> <p>陳氏は、自身が国籍を理由に法律家になれなかった過去を語った。しかし、現在は違う。国籍を理由に法律家の夢を諦めなければならないということはなくなった。そこに至るまでには多くの人たちの努力があったということ話し、自由に仕事を選べるありがたさを生徒達に伝えていた。またそのことから、「Impossible」を「I'm possible」と読み変え、「不可能なことは無い」ということを熱く語っていた。</p> <p>両氏とも自身の人生から、「仕事」について話していた。就職まであと2, 3年で、将来について考えなければならない生徒達にとって、分かりやすく、身近に感じることができただろう。</p>



